

KYOWA KIRIN

株 主 メ モ

事業年度	1月1日から12月31日まで (平成21年6月25日開催の第86回定時株主総会において、事業年度を「4月1日から3月31日まで」から上記に変更しております。ただし、第87期は、平成21年4月1日から12月31日までの9か月決算となります。)
定時株主総会	毎年3月
基準日	定時株主総会・期末配当 毎年12月31日 中間配当 毎年6月30日 (ただし、第87期は9月30日を中間配当基準日とします。)
株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-78-2031 (フリーダイヤル) 取次事務は中央三井信託銀行株式会社の本店及び全国各支店並びに日本証券代行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。
公告方法	電子公告の方法により行います。ただし、やむをえない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。 公告掲載の当社ホームページアドレス http://ir.kyowa-kirin.co.jp/
証券コード	4151

お知らせ

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。特別口座に関する振替請求、単元未満株式の買取請求・買増請求、配当金の受領方法の指定、住所等の変更の各お手続きについては、右記中央三井信託銀行株式会社のフリーダイヤル又はホームページで24時間受け付けております。

フリーダイヤル 0120-87-2031 (手続用紙ご請求専用:自動音声案内)

ホームページ http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html

未払配当金の支払について

株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。



株主のみなさまへ

KYOWA KIRIN

第 87 期 報 告 書

平成21年4月1日～平成21年12月31日

協和発酵キリン株式会社



取締役社長
松田 譲

株主のみなさまにおかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は当社の経営に一方ならぬご支援をいただきまして、誠に有り難く心から御礼申し上げます。

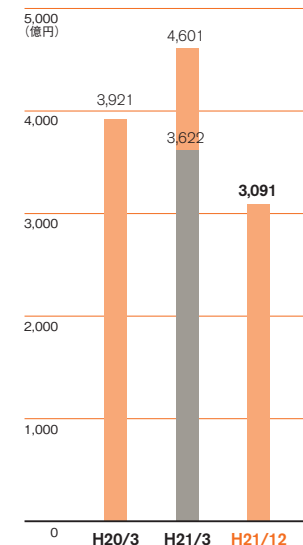
さて、ここに当社の第87期（平成21年4月1日～平成21年12月31日）の報告書をお届けするにあたり、一言ごあいさつ申し上げます。

当社グループを取り巻く事業環境は、医薬事業では、国内におけるジェネリック医薬品の使用促進などの薬剤費抑制策の進展や、欧米製薬企業や専門大手の攻勢激化、国際的な新薬開発競争の激化など、引き続き厳しい事業環境となっております。バイオケミカル事業では、健康食品用途のアミノ酸市場における中国メーカー等の台頭による価格低下傾向や、急激な円高の影響等にさらされております。化学品事業では、最悪期は脱したものの、世界的な景気後退による需要減や製品市況の低迷により、依然として厳しい状況が続いております。このような環境のなかで、当社グループは、中核事業である医薬事業、バイオケミカル事業へ積極的に経営資源を投入し、成長に向け更なる収益力強化を図り、また、競争力強化に向けた業務改革に継続的に取り組むとともに、外部リソース等も活用し、事業強化、研究開発効率化に取り組んでまいりました。

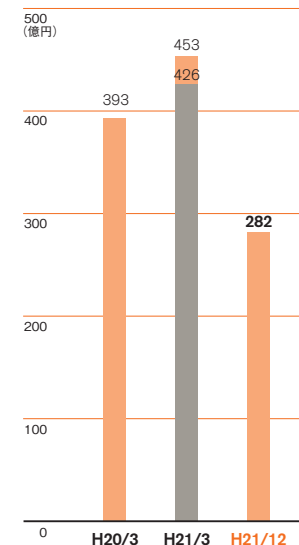
この結果、当連結会計年度の売上高は、食品事業が連結除外となった影響もあり、3,091億円（前年同期比14.7%減）となり、営業利益は282億円（同33.8%減）、経常利益は294億円（同31.9%減）となりました。また、当期純利益については、固定資産臨時償却費や減損損失など88億円の特別損失を計上し、87億円（同16.1%減）となりました。

なお、当社は、事業年度を毎年4月1日から翌年3月31日までとしておりましたが、当社の親会社である

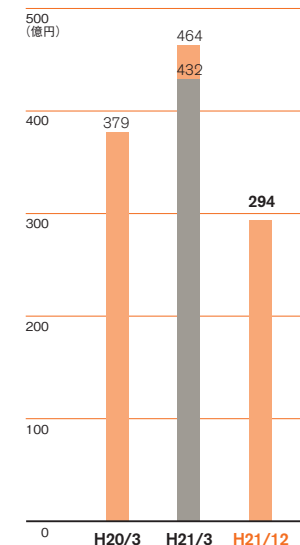
売上高



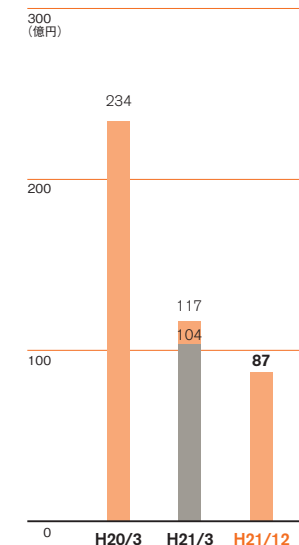
営業利益



経常利益



当期純利益



■ 第3四半期 ■ 通期（決算期変更のため当連結会計年度（H21/12）は平成21年4月1日から平成21年12月31日までの9か月決算となっております。）
 （注）この報告書に記載の金額及び株式数は、表示単位未満を切捨てております。

キリンホールディングス株式会社の事業年度の末日が毎年12月31日であることを踏まえて、同社と事業年度を一致させることにより、業績等の経営情報をより適切に開示し、効率的な業務執行を行うために、平成21年6月25日開催の第86回定時株主総会の決議により、事業年度を毎年1月1日から12月31日までに変更しております。

当社グループは、この変更に合わせて、平成22年度を初年度とする3か年の2010-12年度グループ中期経営計画を新たに策定いたしました。「バイオテクノロジー

を基盤とし、医薬を核にした日本発の世界トップクラスの研究開発型ライフサイエンス企業を目指す。」というビジョンを掲げ、多様なニーズに対する新たな価値の提供を通じて、グローバルな成長を図ってまいります。そして、最終年度の平成24年度においては、売上高4,540億円、営業利益517億円を目指します。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも一層のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成22年3月

■ 医薬事業 ■ バイオケミカル事業

2009年
5月

持続型赤血球造血刺激因子製剤
「ネスプ® 静注用プラシリンジ」発売



「ネスプ® 静注用プラシリンジ」

サノフィ・アベンティス社との間で、当社の完全ヒトモノクローナル抗体「抗LIGHT抗体」の共同開発・販売等ライセンス契約を締結したことを発表



「A1c GEAR K」

協和メデックス株式会社が、血糖状態を知る上で重要な検査項目であるヘモグロビンA1cを微量全血で測定できる測定機器「A1c GEAR K」専用試薬「メディダスHbA1c K」を発売

当社がISO14001の全社統合認証を取得



ISO14001認証書

6月

自社開発のKW-0761（抗CCR4抗体）の成人T細胞白血病リンパ腫に対する国内第II相臨床試験を開始

7月

がん性疼痛治療剤KW-2246の第III相臨床試験で、統計学的な有意差が認められる

8月

2014年までに医薬事業の営業車1,000台をハイブリッドカーに切換え完了予定。

9月

当社が「私たちの志」スペシャルサイトを公開

10月

遺伝子組換えG-CSF製剤「ノイアップ」の株式会社ヤクルト本社への製造・販売承認の承継（平成22年3月1日付）を発表

協和発酵バイオ株式会社が、「リメイクぎゅっと濃縮 天然活性 ルテインブルーベリー配合」発売



キリングroupの原料アルコール事業を合併新会社 第一アルコール株式会社に統合し、加工用酒類・発酵調味料事業はキリン協和フーズ株式会社へ一元化することを決定

11月

持続型赤血球造血刺激因子製剤「ネスプ® 静注用プラシリンジ」が「日本パッケージングコンテスト適正包装賞」受賞



社団法人農林水産先端技術産業振興センター会長賞

家畜排泄物由来の環境汚染物質の低減に取り組んだ協和発酵バイオ株式会社の活動が評価され、「社団法人農林水産先端技術産業振興センター会長賞」を受賞

12月

ゼリア新薬工業株式会社と当社は共同で潰瘍性大腸炎治療剤「アサコール® 錠400mg」新発売



潰瘍性大腸炎治療剤「アサコール® 錠400mg」

イムナス・ファーマ株式会社の抗アミロイドβペプチド抗体の独占的実施権の当社への供与に合意

協和発酵バイオ株式会社が脳回転状網脈絡膜萎縮症患者とオルニチン摂取の関係についての情報提供

協和発酵バイオ株式会社の畜水産分野に係る国内販売事業をあすか製薬株式会社へ譲渡する契約を締結したことを発表

「抗体医薬品」情報サイトを開設

新薬開発状況一覧 (P II 以上)

領域	名称	開発段階		適応症	剤型	自社or導入	備考
		日本	海外				
がん・血液	KW-0761	Ph II	米国 Ph I / IIa	悪性腫瘍 (血液がん)	注射	自社	ヒト化抗体 (がん領域以外のすべての疾患について日本・中国・韓国・台湾を除く全世界における独占的開発/販売権を米国 Amgen社へ平成20年3月に譲渡)
	KRN321 ネスブ	申請中 H20/11		★がん化学療法による貧血	注射	Kirin-Amgen	持続型赤血球 造血刺激因子製剤 日本で透析施行中の腎性貧血治療剤として平成19年7月より発売中
	AMG531	Ph III		血小板減少症 (免疫性血小板減少性紫斑病)	注射	Kirin-Amgen	血小板増殖刺激因子製剤 (契約に基づき開発はアムジェン・デベロップメント(株)が実施)
	KW-2246	Ph III		がん性疼痛	舌下錠	Orexo	
	KRN125	Ph II		好中球減少症	注射	Kirin-Amgen	持続型G-CSF製剤
腎臓	PB94 フォスブロック/ レナジェル		中国 申請中 H20/6	高リン血症	経口	中外製薬	本邦・発売中
	KRN321 ネスブ	申請中 H20/12	中国 Ph II	★腎性貧血 (透析施行前) ★腎性貧血 (透析施行中)	注射	Kirin-Amgen	持続型赤血球 造血刺激因子製剤 日本で透析施行中の腎性貧血治療剤として平成19年7月より発売中
免疫・アレルギー	KW-4679 アレロック		中国 申請中 H20/7	アレルギー	経口	自社	本邦・発売中
	Z-206 アサコール	Ph III		炎症性腸疾患 (クローン病)	経口腸溶製剤	ゼリア新薬工業	ゼリア新薬工業と共同開発
中枢神経系	KW-6002	Ph III	米国 申請中 H19/4	パーキンソン病	経口	自社	
	KW-6500	Ph III		パーキンソン病	注射	Britannia Pharma.	

★適応拡大

新薬開発状況一覧 (P I)

領域	名称	開発段階		適応	剤型	自社or導入	備考
		日本	海外				
がん・血液	KW-2450		米国 Ph I	悪性腫瘍	経口	自社	
	KRN654	Ph I / II		血小板増多症	経口	Shire	
	KW-2449		米国 Ph I / IIa	悪性腫瘍	経口	自社	
	KW-2478		欧州 Ph I	悪性腫瘍	注射	自社	
	ARQ197	Ph I		悪性腫瘍	経口	ArQule	
	KRN330		米国 Ph I / IIa	悪性腫瘍	注射	自社	完全ヒト抗体
	BIW-8962		米国 Ph I / IIa	悪性腫瘍	注射	自社	ヒト化抗体
免疫・アレルギー	KRN951	Ph I		悪性腫瘍	経口	自社	
	ASKP1240		Ph I	臓器移植時の拒絶反応	注射	自社	完全ヒト抗体 アステラス製薬と共同開発
その他	KW-3357	Ph I	欧州 Ph I	汎発性血管内凝固症候群 先天性アンチトロンビン欠乏に基づく血栓形成傾向	注射	自社	遺伝子組換え アンチトロンビン製剤
	KRN23		米国 Ph I	低リン血症性くる病	注射	自社	完全ヒト抗体

当連結会計年度は、決算期変更により9か月決算となっておりますので、前年同期比については、平成20年4月1日から平成20年12月31日までの9か月間（平成21年3月期第3四半期連結累計期間）との比較を記載しております。

医薬事業

Pharmaceuticals



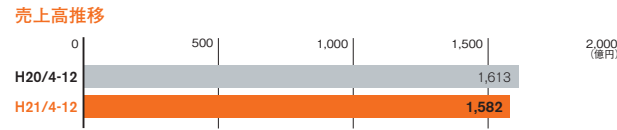
国内の医療用医薬品は、主力品を中心に順調に推移し、売上高は前年同期を上回りました。

製品別には、貧血治療剤「ネスプ」及び「エスポー」、二次性副甲状腺機能亢進症治療剤「レグパラ」、抗アレルギー剤「アレロック」、抗アレルギー点眼剤「パタノール」などが売上高を伸ばしました。また、12月にゼリア新薬工業株式会社と共同で潰瘍性大腸炎治療剤「アサコール」の販売を開始しました。

医薬品の技術収入及び輸出においては、抗CCR4抗体KW-0761に関するライセンス契約一時金があった前年同期に比べ大幅な減収となりました。

臨床検査試薬製造販売の子会社協和メデックス株式会社は、輸出の伸長などにより、売上高が前年同期を上回りました。

この結果、医薬事業の売上高は、1,582億円（前年同



期比1.9%減)となり、営業利益は266億円(同10.1%減)となりました。

新薬の国内開発では、貧血治療剤「ネスプ」の適応追加を申請中のほか、がん性疼痛治療剤KW-2246の第Ⅲ相臨床試験の結果を得て新薬承認申請の準備を進め、血小板減少症治療剤AMG531の新薬承認申請の準備を進めました。また、8月に抗パーキンソン剤KW-6002、10月に抗パーキンソン剤KW-6500の第Ⅲ相臨床試験を開始し、白血球減少症治療剤KR N125の第Ⅱ相臨床試験を進め、6月にKW-0761(抗体医薬)の血液がんに対する適応の第Ⅱ相臨床試験を開始しております。更に、血液凝固阻止剤KW-3357及び抗悪性腫瘍剤ARQ197の第Ⅰ相臨床試験を進め、9月に抗悪性腫瘍剤KR N951の第Ⅰ相臨床試験を開始しております。

海外では、米国において抗悪性腫瘍剤KW-2449、



抗悪性腫瘍剤KR N330(抗体医薬)、抗悪性腫瘍剤BIW-8962(抗体医薬)の第Ⅰ/Ⅱa相臨床試験、低リン血症性くる病治療剤KR N23(抗体医薬)の第Ⅰ相臨床試験を進めております。また、6月に抗悪性腫瘍剤KW-2450の第Ⅰ相臨床試験を開始し、7月にKW-0761(抗体医薬)の血液がんに対する適応の第Ⅰ/Ⅱa相臨床試験を開始しております。欧州においては、抗悪性腫瘍剤KW-2478の第Ⅰ相臨床試験を進め、8月に血液凝固阻止剤KW-3357の第Ⅰ相臨床試験を開始しております。中国においては、抗アレルギー剤「アレロック」の承認取得を申請中であり、貧血治療剤「ネスプ」の第Ⅱ相臨床試験を進めております。

食品事業

Foods

前連結会計年度末において、食品事業を営んでいた連結子会社協和発酵フーズ株式会社(現 キリン協和フーズ株式会社)の株式の一部を売却したことに伴い、同社及びその子会社3社(協和エフ・デイ食品株式会社、オーランドフーズ株式会社、協和ハイフーズ株式会社)が持分法適用関連会社に異動し、食品事業を営む連結子会社がなくなったため、当連結会計年度より、事業の種類別セグメントの食品事業を廃止しております。

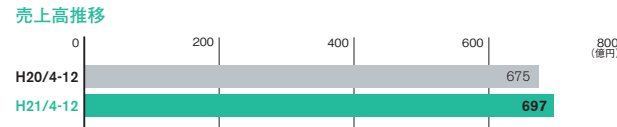
このため、当連結会計年度の食品事業の売上高及び営業利益の計上はありません。なお、前年同期の食品事業の売上高は328億円、営業利益は9億円でありました。

当連結会計年度は、決算期変更により9か月決算となっておりますので、前年同期比については、平成20年4月1日から平成20年12月31

日までの9か月間（平成21年3月期第3四半期連結累計期間）との比較を記載しております。

バイオケミカル事業

Bio-Chemicals



アミノ酸・核酸関連物質を中心とする医薬・工業用原料では、輸液・医療用途を中心に拡販に努めてまいりましたが、円高の影響を大きく受け、売上高は前年同期比で減少しました。

ヘルスケア製品では、通信販売リメイクシリーズの定期顧客数が順調に伸長し、売上高は前年同期比で増収となりました。

農畜水産向け製品では、海外市場での農薬の競争激化や、国内畜水産業界の低迷もあり、前年同期の売上高を下回りました。

アルコールは、酒類原料用アルコールが減少傾向で推移しましたが、積極的に新規顧客獲得に努めたことや、インフルエンザの流行により工業用アルコールの需要が急増し、売上高は前年同期を大きく上回りました。

また、第一ファインケミカル株式会社は、ビタミン市況の低迷などにより売上高が大きく減少しました。

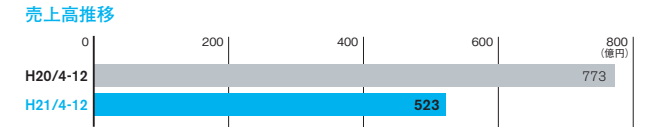
この結果、バイオケミカル事業の売上高は、697億円（前年同期比3.3%増）となり、営業利益は30億円（同58.9%減）となりました。

研究開発では、生産技術研究所、バイオプロセス開発センターにて、アミノ酸や核酸関連物質のコストダウンを目指した発酵生産の効率化研究を、第一ファインケミカル株式会社においては、合成プロセスの研究を継続するとともに、新製品の研究開発にも注力しております。また、ヘルスケア商品開発センターにおいては各種アミノ酸等の機能探索や用途開発を継続しております。



化学品事業

Chemicals



国内では、一部に景気回復の兆しが見られましたが、上半期の需要停滞の影響が大きく、販売数量、売上高共に前年同期を下回りました。輸出については、中国需要の伸長などにより、販売数量は前年同期を上回りましたが、国際市況の大幅な下落により、売上高は前年同期を下回りました。

分野別には、機能性製品の販売数量が国内、輸出共に前年同期を上回ったほか、溶剤、可塑剤原料についても第3四半期会計期間には前年同期の販売数量を上

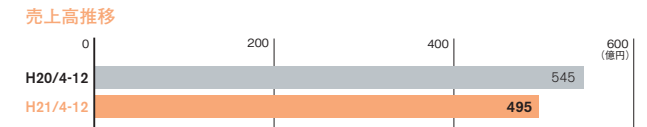
回るなど、いずれも回復基調にありますが、販売価格の下落により、売上高は前年同期を下回りました。

この結果、化学品事業の売上高は、523億円（前年同期比32.3%減）となり、営業損失は19億円（前年同期は35億円の営業利益）となりました。



その他事業

Others



その他事業の売上高は、495億円（前年同期比9.2%減）となり、営業利益は4億円（同62.2%減）となりました。

連結決算概況

当期は、決算期変更により平成21年4月1日から平成21年12月31日までの9か月間となっております。

連結貸借対照表（要旨）

（単位：億円）

科目	当期		科目	当期	
	平成21年12月31日現在			平成21年12月31日現在	
資産の部			負債の部		
流動資産	2,765	2,794	流動負債	1,098	1,082
現金及び預金	301	329	支払手形及び買掛金	489	419
受取手形及び売掛金	1,208	1,099	短期借入金	126	127
たな卸資産	638	676	未払金	323	248
繰延税金資産	92	116	その他	158	286
短期貸付金	403	472	固定負債	450	476
その他	121	99	繰延税金負債	146	171
固定資産	4,186	4,195	退職給付引当金	272	266
有形固定資産	1,625	1,603	その他	31	38
建物及び構築物	388	450	負債合計	1,549	1,559
機械装置及び運搬具	259	262	純資産の部		
土地	719	741	株主資本	5,393	5,472
その他	256	149	資本金	267	267
無形固定資産	1,741	1,806	資本剰余金	5,123	5,124
のれん	1,700	1,772	利益剰余金	70	104
その他	40	33	自己株式	△ 69	△ 23
投資その他の資産	819	785	評価・換算差額等	△ 34	△ 86
投資有価証券	664	623	新株予約権	1	1
繰延税金資産	42	30	少数株主持分	43	43
その他	113	131	純資産合計	5,403	5,430
資産合計	6,952	6,990	負債純資産合計	6,952	6,990

（注）有形固定資産の減価償却累計額 3,293億円 3,196億円

連結損益計算書（要旨）

（単位：億円）

科目	当期		前期	
	平成21年4月1日から平成21年12月31日まで		平成20年4月1日から平成21年3月31日まで	
売上高	3,091	4,601		
売上原価	1,693	2,598		
売上総利益	1,397	2,002		
販売費及び一般管理費	1,114	1,549		
営業利益	282	453		
営業外収益	40	58		
営業外費用	27	48		
経常利益	294	464		
特別利益	0	60		
特別損失	88	215		
税金等調整前当期純利益	206	309		
法人税、住民税及び事業税	164	207		
法人税等調整額	△ 48	△ 18		
法人税等合計	116	189		
少数株主利益	1	2		
当期純利益	87	117		

（注）1株当たり当期純利益 15円41銭 20円43銭

連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：億円）

科目	当期		前期	
	平成21年4月1日から平成21年12月31日まで		平成20年4月1日から平成21年3月31日まで	
営業活動によるキャッシュ・フロー	242	410		
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 132	△ 39		
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 169	△ 209		
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 0	△ 10		
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△ 59	150		
現金及び現金同等物の期首残高	692	104		
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	3	437		
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	2	0		
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△ 2	-		
現金及び現金同等物の期末残高	637	692		

主要な連結決算対象会社は、協和発酵バイオ株式会社、協和発酵ケミカル株式会社、協和メデックス株式会社、第一ファインケミカル株式会社であります。その他連結子会社は25社、持分法適用会社は9社であります。

連結株主資本等変動計算書（要旨）

平成21年4月1日から平成21年12月31日まで

（単位：億円）

科目	株主資本					評価・換算差額等	新株予約権	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計				
平成21年3月31日 残高	267	5,124	104	△ 23	5,472	△ 86	1	43	5,430
連結会計年度中の変動額									
剰余金の配当			△ 114		△ 114				△ 114
当期純利益			87		87				87
自己株式の取得				△ 46	△ 46				△ 46
自己株式の処分		△ 0		0	0				0
連結範囲の変動			△ 8		△ 8				△ 8
合併による増加			1		1				1
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額（純額）						51	0	△ 0	51
連結会計年度中の変動額合計	-	△ 0	△ 33	△ 45	△ 78	51	0	△ 0	△ 27
平成21年12月31日 残高	267	5,123	70	△ 69	5,393	△ 34	1	43	5,403

単独決算概況

当期は、決算期変更により平成21年4月1日から平成21年12月31日までの9か月間となっております。

単独貸借対照表（要旨）

（単位：億円）

科 目	当 期	前 期
	平成21年12月31日現在	平成21年3月31日現在
資産の部		
流動資産	1,553	1,639
固定資産	2,123	2,015
資産合計	3,677	3,655
負債の部		
流動負債	578	605
固定負債	200	193
負債合計	779	798
純資産の部		
株主資本	2,821	2,820
資本金	267	267
資本剰余金	1,038	1,038
利益剰余金	1,585	1,538
自己株式	△ 69	△ 23
評価・換算差額等	75	34
新株予約権	1	1
純資産合計	2,898	2,856
負債純資産合計	3,677	3,655

（注）有形固定資産の減価償却累計額 1,124億円 1,087億円

単独損益計算書（要旨）

（単位：億円）

科 目	当 期	前 期
	平成21年4月1日から平成21年12月31日まで	平成20年4月1日から平成21年3月31日まで
売上高	1,438	1,881
売上原価	340	591
売上総利益	1,098	1,290
販売費及び一般管理費	812	931
営業利益	286	359
営業外収益	33	60
営業外費用	12	15
経常利益	306	404
特別利益	26	158
特別損失	62	89
税引前当期純利益	270	473
法人税、住民税及び事業税	146	164
法人税等調整額	△ 37	△ 32
法人税等合計	109	132
当期純利益	160	340

（注）1株当たり当期純利益 28円15銭 59円33銭

単独株主資本等変動計算書（要旨）

平成21年4月1日から平成21年12月31日まで

（単位：億円）

科 目	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成21年3月31日 残高	267	1,038	1,538	△ 23	2,820
事業年度中の変動額					
剰余金の配当			△ 114		△ 114
当期純利益			160		160
自己株式の取得				△ 46	△ 46
自己株式の処分			△ 0	0	0
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額（純額）					
事業年度中の変動額合計	—	—	46	△ 45	0
平成21年12月31日 残高	267	1,038	1,585	△ 69	2,821

科 目	評価・換算差額等	新株予約権	純資産合計
平成21年3月31日 残高	34	1	2,856
事業年度中の変動額			
剰余金の配当			△ 114
当期純利益			160
自己株式の取得			△ 46
自己株式の処分			0
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額（純額）	40	0	40
事業年度中の変動額合計	40	0	41
平成21年12月31日 残高	75	1	2,898

2010-12年度グループ中期経営計画の概要について

当社は、平成22年度を初年度とする3か年間の中期経営計画を策定いたしました。そして、中期経営計画期間中のグループ基本方針として下記を定めさせていただきます。

グループ基本方針

①お客様に対し新たな価値を提供します。

医薬及びバイオケミカルの各事業に経営資源を集中し、お客様の多様なニーズに対し、差別化された商品・サービスを通して新たな価値を提供します。

②グローバル化の推進

海外のターゲット市場毎にビジネスパートナーとの連携を含めて事業基盤を確立し、高品質の商品・サービスの提供を推進します。

③コスト構造改革の推進による収益力強化

機能毎における業務プロセスの改革を推進するとともに、当社グループ内はもとよりキリングroup並びに社外を含むバリューチェーン全体を視野におい

た生産性向上を通じてコスト構造を変革し、収益力を強化します。

④社会への貢献と信頼性の向上

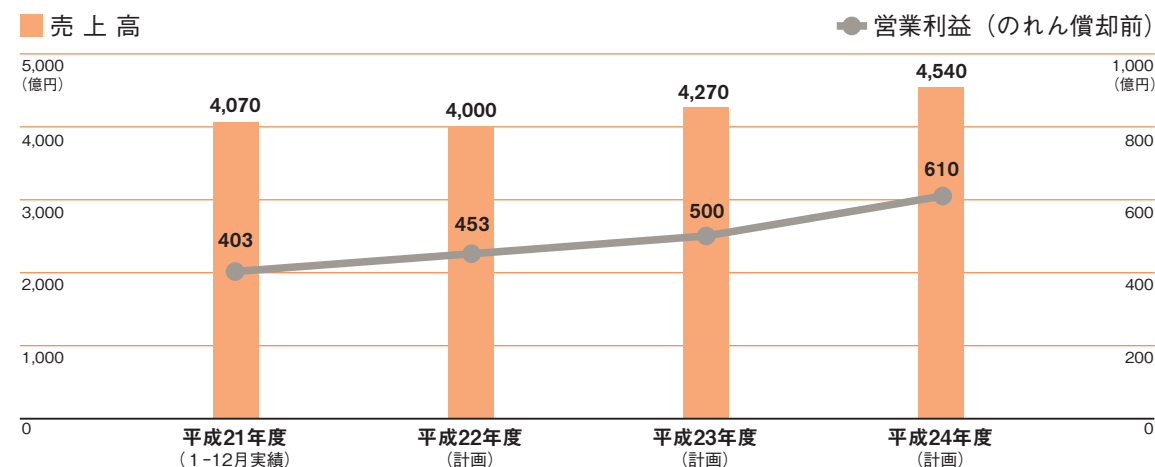
企業グループとして、環境保全・向上のための施策をあらゆる事業活動に組み込み、実施します。企業市民の義務としてグループ全体でコンプライアンス活動を徹底すると同時に、高いレベルでの品質保証に万全を期します。

⑤グループ連携、能力基盤の向上

戦略の構築・展開に当ってグループとしての連携を一層強化すると同時に、その原動力となるマネジメントシステム、組織風土・人材等の能力基盤を整備、充実させます。

協和発酵キリングroupは、バイオテクノロジーを基盤とし、医薬を核にした日本発の世界トップクラスの研究開発型ライフサイエンス企業を目指してまいります。

連結業績推移



平成24年度の連結業績目標

売上高	4,540 億円		営業利益 (のれん償却前)	610 億円		営業利益 (のれん償却後)	517 億円	
	医薬事業	バイオケミカル事業	化学品事業	その他事業・消去				
売上高	2,250億円	880億円	1,470億円	△60億円				
営業利益 (のれん償却前)	450億円	90億円	70億円	0億円				

当社

商号	協和発酵キリン株式会社
創立	昭和24年7月1日
本社所在地	〒100-8185 東京都千代田区大手町一丁目6番1号 (大手町ビル) 電話 03-3282-0007 http://www.kyowa-kirin.co.jp/
資本金	267億4,500万円
従業員数	4,290名
営業拠点	札幌支店、東北支店、東東京支店、 西東京支店、千葉埼玉支店、北関東支店、 甲信越支店、横浜支店、名古屋支店、 東海支店、大阪支店、京滋北陸支店、 神戸支店、中国支店、四国支店、福岡支店、 南九州支店 *このほか、営業所が57か所あります。
生産拠点	高崎工場、富士工場、堺工場ほか
研究拠点	フロンティア研究所、バイオ生産技術研究所、 東京リサーチパーク、富士リサーチパーク、 製剤研究所、合成技術研究所
海外駐在員事務所	北京、上海、広州 (中国)

主要な子会社

国内	<p>協和発酵バイオ株式会社 本社：東京都千代田区 営業拠点：東京、大阪、福岡ほか2か所 生産拠点：ヘルスケア土浦工場、山口事業所 研究拠点：つくば開発センター、生産技術研究所、ヘルスケア商品開発センター、バイオプロセス開発センター</p> <p>協和発酵ケミカル株式会社 本社：東京都中央区 営業拠点：大阪支店 生産拠点：千葉工場、四日市工場 研究拠点：四日市研究所</p> <p>協和メテックス株式会社 本社：東京都中央区 営業拠点：東京支店、大阪支店ほか7か所 生産拠点：富士工場 研究拠点：研究所</p> <p>第一ファインケミカル株式会社 本社、生産拠点：富山県高岡市 営業拠点：東京事務所、大阪出張所</p>
海外	<p>生産拠点 麒麟鯤鵬 (中国) 生物薬業有限公司 (中国) BioKyowa, Inc. (アメリカ) 上海協和アミノ酸有限公司 (中国)</p> <p>研究開発拠点 Kyowa Hakko Kirin Pharma, Inc. (アメリカ) Kyowa Hakko Kirin UK Ltd. (イギリス) Kyowa Hakko Kirin California, Inc. (アメリカ) Hematech, Inc. (アメリカ)</p> <p>販売拠点 協和発酵麒麟 (香港) 有限公司 (中国) 協和発酵 (香港) 有限公司 (中国) 第一・キリン薬品株式会社 (韓国) 台湾協和発酵麒麟股份有限公司 (台湾) Kyowa Hakko U.S.A., Inc. (アメリカ) Kyowa Hakko Europe GmbH (ドイツ) Kyowa Italiana Farmaceutici S.r.l. (イタリア)</p> <p>持株会社 Kyowa Hakko Kirin America, Inc. (アメリカ) Kyowa Hakko Bio U.S. Holdings, Inc. (アメリカ)</p>

取締役及び監査役

代表取締役社長	※ 松田 讓
代表取締役副社長執行役員	宗友 廣
取締役専務執行役員	湯地 友憲
取締役専務執行役員	山角 健
取締役常務執行役員	立花 和義
取締役常務執行役員	花井 陳雄
取締役常勤監査役	藤田 耕三
取締役常勤監査役	谷口 明
取締役常勤監査役	神田 信夫
取締役常勤監査役	左藤 友二郎
取締役常勤監査役	永井 浩明
取締役監査役	高橋 弘幸

執行役員

専務執行役員	吉田 豊
常務執行役員	河合 弘行
常務執行役員	鈴木 芳樹
執行役員	常包 啓
執行役員	唐澤 文博
執行役員	西野 昌生
執行役員	高柳 英男
執行役員	井上 滋
執行役員	諸富 文
執行役員	三箇 山俊
執行役員	山崎 暢久
執行役員	佐藤 洋一
執行役員	大島 悦男

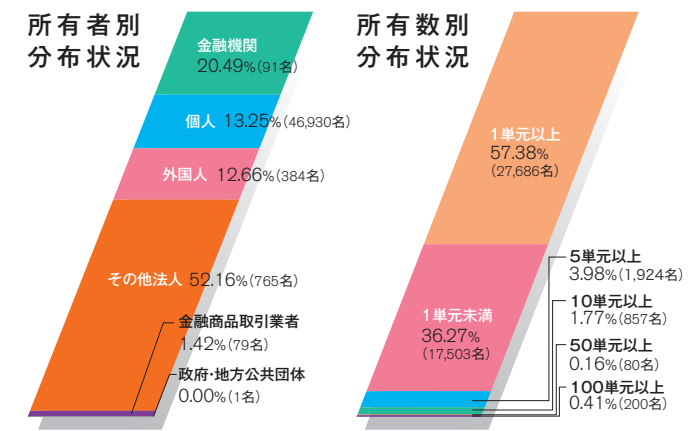
(注) 上記※印の代表取締役は、執行役員を兼務しております。

発行可能株式総数	987,900,000株
発行済株式の総数	576,483,555株
株主数	48,250名

大株主

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
キリンホールディングス株式会社	288,819	50.71
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	20,542	3.60
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	18,667	3.27
第一生命保険相互会社	14,600	2.56
農林中央金庫	10,706	1.87
みずほ信託銀行株式会社退職給付信託みずほ銀行口 再信託受託者資産管理サービス信託銀行株式会社	4,781	0.83
ジュニパー	3,787	0.66
日本興亜損害保険株式会社	3,246	0.57
株式会社損害保険ジャパン	3,135	0.55
資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口)	3,066	0.53

(注) 1. 出資比率は自己株式(6,935,900株)を控除して計算しております。
2. みずほ信託銀行株式会社退職給付信託みずほ銀行口再信託受託者資産管理サービス信託銀行株式会社の持株数4,781千株は、株式会社みずほ銀行が委託した退職給付信託の信託財産であり、その議決権行使の指図権は株式会社みずほ銀行が留保しております。



合計 576,483,555株 (48,250名)